【教科別の評価規準】

保健体育	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。また、個人生活における健康・安全について科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に自主的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。
評価方法 評価材料	○行動観察（技能の到達度） ○技能テスト ○定期テスト（観点別問題）	○定期テスト（観点別問題） ○振り返りシート	○行動観察（グループ活動や種目に対する意欲） ○ノート等の記載内容 ○振り返りシート